

伊集院保健所感染症情報

2026年第30週（令和8年7月20日～令和8年7月26日）

【お問い合わせ先】 ☎899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令！：水痘

定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第27週	第28週	第29週	第30週	先週からの増減	第29週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	134.50	117.50	100.00	67.00	↘	58.47	↘
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.33	↗
COVID-19	—	—	—	45.50	33.50	19.50	5.50	↘	8.47	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.77	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	6.00	2.00	2.00	5.00	↗	1.65	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	1.00	0.00	0.00	1.00	↗	2.74	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.23	↘
手足口病	5	2	—	12.00	10.00	0.00	3.00	↗	2.16	↘
伝染性紅斑	2	1	—	3.00	2.00	2.00	0.00	↘	0.23	↗
突発性発しん	—	—	—	1.00	0.00	2.00	1.00	↘	0.52	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.19	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	2.00	1.00	3.00	1.00	↘	2.26	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC

お肉はよく焼いて食べましょう

牛や豚などは、と畜場で解体処理する過程で腸内にいる腸管出血性大腸菌やサルモネラのような病原性の細菌がお肉や内臓に付着したり、E型肝炎ウイルスなどの人に害を与えるウイルスや寄生虫に感染している場合があります。

このため、新鮮なものかどうかに関わらず、生や加熱不十分なものは重篤な食中毒が発生する危険性があります。

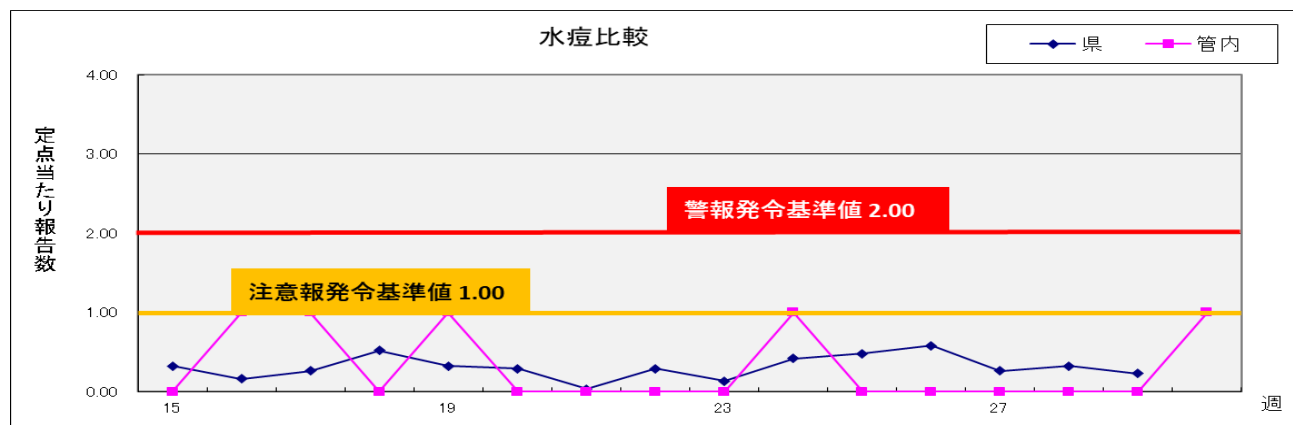
また、イノシシやシカなどの野生鳥獣（ジビエ）では、家畜のように飼養管理されていないことから、さらに生食することは危険です。

細菌やウイルス、寄生虫は加熱により死滅します。このため、お肉やレバーなどの内臓は、よく加熱して食べましょう。特にお子さんやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、注意が必要です。

- ・ 中心部の色が変わるまで、中心部温度が75℃1分以上加熱しましょう。
- ・ 生のレバーや肉が触れた Tongue・箸・皿は、その他の料理に触れないようにしましょう。

● 注意すべき感染症

・水痘（流行発生注意報発令！）



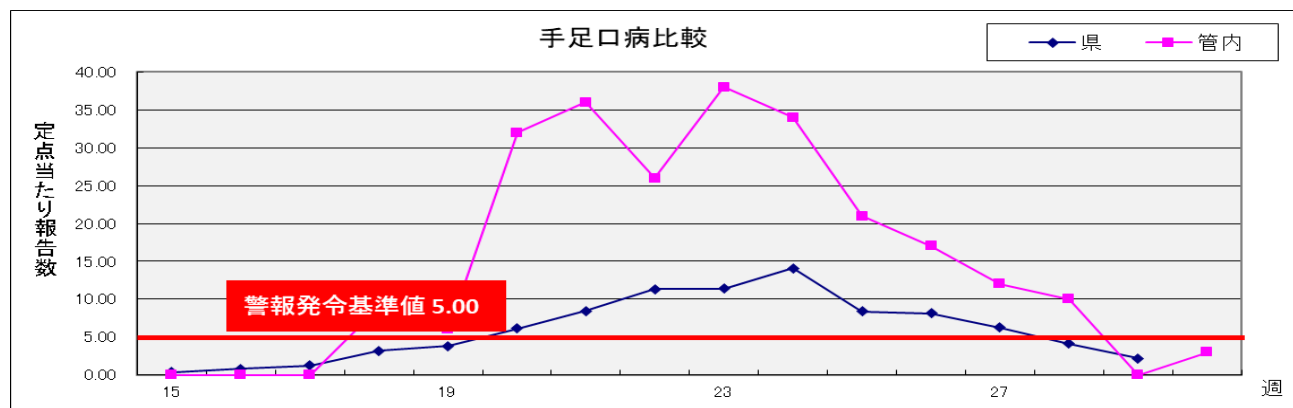
第30週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は、1人でした。年齢別では、3歳（1人）でした。水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から2週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。

臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が2～3日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する1～2日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・手足口病



第30週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、3人でした。

年齢別では、6ヶ月～11ヶ月・1歳・2歳（各1人）の報告がありました。

手足口病は、感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くなく、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

予防法としては、タオルの共用を避け、手洗いをしっかり行いましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況7/20～7/26（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）
今週の報告は、ありませんでした。